

令和 7 年度宇部市地域包括支援センター収支決算書

(円)

地域包括支援センター			東部 1	東部 2	西部 1	西部 2	中部 1	中部 2	北部東	北部西	南部 1	南部 2
運営法人			社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同 組合 健文会	医療法人 仁心会
歳入	包括的支援事業		27,637,930	28,411,609	29,180,100	24,978,360	30,502,633	27,331,000	16,521,425	17,343,932	27,188,710	26,801,500
	指定介護予防支援事業		9,851,275	14,429,520	7,591,420	7,834,020	14,000,460	10,752,900	5,588,832	4,141,080	9,374,949	10,218,640
	歳入合計		37,489,205	42,841,129	36,771,520	32,812,380	44,503,093	38,083,900	22,110,257	21,485,012	36,563,659	37,020,140
歳出	人件費	包括的支援事業	22,755,753	20,576,183	18,116,019	19,842,905	22,920,472	17,254,844	13,768,825	15,307,542	21,295,517	20,656,608
		指定介護予防支援事業	3,605,247	6,317,360	3,936,150	1,406,696	5,741,039	2,173,532	2,889,339	2,752,123	4,454,806	4,655,710
		計	26,361,000	26,893,543	22,052,169	21,249,601	28,661,511	19,428,376	16,658,164	18,059,665	25,750,323	25,312,318
	事務費	包括的支援事業	4,882,177	7,835,426	11,064,081	5,118,730	7,582,161	10,076,156	2,752,600	1,728,391	5,893,193	6,144,892
		指定介護予防支援事業	6,246,028	8,112,160	3,655,270	4,365,536	8,259,421	8,579,368	2,699,493	864,213	4,920,143	5,562,930
		計	11,128,205	15,947,586	14,719,351	9,484,266	15,841,582	18,655,524	5,452,093	2,592,604	10,813,336	11,707,822
	歳出合計		37,489,205	42,841,129	36,771,520	30,733,867	44,503,093	38,083,900	22,110,257	20,652,269	36,563,659	37,020,140
収支差額			0	0	0	2,078,513	0	0	0	832,743	0	0

【再掲】 包括的支援事業（市受託分について）

(円)

地域包括支援センター		東部 1	東部 2	西部 1	西部 2	中部 1	中部 2	北部東	北部西	南部 1	南部 2
運営法人		社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同 組合 健文会	医療法人 仁心会
歳入	委 託 料	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	14,527,000	14,527,000	19,522,000	19,522,000
	介護予防ケアマネジメン ト費収入	7,733,840	7,491,480	9,658,100	5,456,360	8,818,760	7,809,000	1,985,540	2,800,560	6,154,296	7,279,500
	その他の収入	382,090	1,398,129	0	0	2,161,873	0	8,885	16,372	1,512,414	0
	歳入合計	27,637,930	28,411,609	29,180,100	24,978,360	30,502,633	27,331,000	16,521,425	17,343,932	27,188,710	26,801,500
歳出	人件費	22,755,753	20,576,183	18,116,019	19,842,905	22,920,472	17,254,844	13,768,825	15,307,542	21,295,517	20,656,608
	事務費	4,882,177	7,835,426	11,064,081	5,118,730	7,582,161	10,076,156	2,752,600	1,728,391	5,893,193	6,144,892
	歳出合計	27,637,930	28,411,609	29,180,100	24,961,635	30,502,633	27,331,000	16,521,425	17,035,933	27,188,710	26,801,500
収支差額		0	0	0	16,725	0	0	0	307,999	0	0

第 1 号介護予防支援事業に係る公正・中立性評価基準

公正・中立性の観点から留意する項目 (評価項目)	指標	評価基準
第 1 号介護予防支援事業	【対象者】 給付管理実績のある居宅介護支援事業所への委託を含む全利用者 【評価期間】 当該年度（4月～3月）で評価を行う。 【評価方法】 ①第 1 号訪問事業を位置づけた全利用者のうち、当該地域包括支援センターが所属する法人を位置づけた利用者総数の割合 ②第 1 号通所事業を位置づけた全利用者のうち、当該地域包括支援センターが所属する法人を位置づけた利用者総数の割合	評価期間において、評価方法の①及び②を合わせた割合が、50%未満。 ただし、50%以上であっても、正当な理由（※）がある場合は除く。
	※正当な理由 1 複数の事業所を紹介するなど適切なケアマネジメントを通じ利用者の希望を勘案した結果、当該法人（事業所）に集中している場合 2 事業所が廃止された場合	

※この評価基準については、随時、宇部市地域包括支援センター運営協議会に諮り、必要な見直しを実施する。

令和7年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(東部1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件 数				
			初 回		継 続		合 計
			介護予防 支援	介護予防 ケアマネジ メント	介護予防 支援	介護予防 ケアマネジ メント	
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	1	0	36	0	37
有限会社エムエッチティー企画	あじす陽だまりの家居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
有限会社 フレンドサービス	居宅介護支援事業所 希望苑	4月	0	0	0	0	0
株式会社妃先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	4	0	31	4	39
医療法人 太白会	シーサイド病院居宅介護支援事業所	4月	0	0	0	0	0
ホームナース立花	立花居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	24	36
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	0	0	0	0	0
有限会社 くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	0	2	72	10	84
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
合同会社 いまむら	いまむら居宅介護支援事業所	4月	0	0	0	0	0
三和ヒューマンサポート株式会社	ケアプランセンター みなみかぜ	4月	8	4	123	73	208
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所 かもめ	4月	0	0	0	0	0
株式会社 セービング	セービングケアプランセンター	4月	4	3	161	82	250
株式会社 河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月	1	1	24	1	27
合同会社 ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月	0	0	12	0	12
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月	0	0	0	12	12
一般社団法人宇部医師会	宇部医師会在宅介護支援センター	4月	0	0	24	24	48
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun To Life	4月	0	0	61	2	63
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	0	0	0	0	0
ふらっとCOMM	ここからサポートセンター	4月	2	0	91	43	136
医療法人 和同会	宇部リハビリテーション病院	4月	0	0	12	2	14
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 ひらき	4月	0	0	0	0	0
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	0	0	4	0	4
株式会社サクラ	ケアビレッジ桜	4月	0	0	34	2	36
社会福祉法人 むべの里光栄	オパール光栄在宅介護支援センター	4月	7	3	205	145	360
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月	3	1	16	22	42
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 博愛園	4月	2	0	83	38	123
株式会社和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	0	0	10	34	44
株式会社 マイプティット	在宅介護支援センター なのはなの家	4月	0	0	0	0	0
株式会社アズユウ	プラスワン	4月	2	5	28	33	68
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス 宇部南	7月	0	0	0	16	16
合同会社 美咲	居宅介護支援センター美咲	12月	0	1	0	2	3
有限会社ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	10月	1	0	5	0	6
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部 居宅介護支援事業所	8月	0	0	0	7	7
総 計	35事業所		35	20	1,080	576	1,711
包括受託法人(むべの里光栄)運営事業所の合計件数		537件	31.4%				

令和7年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(東部第2地域包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件 数				
			初 回		継 続		合 計
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
医療生活協同組合 健文会	宇部協立在宅介護支援センター	4月	1	0	48	12	61
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月	0	3	24	64	91
	むべの里オパール光栄居宅介護支援事業所	4月	5	3	206	476	690
	むべの里居宅介護支援事業所	4月	0	0	14	6	20
	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	1	1	25	16	43
(株)河村福祉サービス	(株)河村福祉サービス	4月	0	0	12	12	24
	(株)河村福祉サービス 宇部南	4月	0	0	23	12	35
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	0	0	9	0	9
生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	1	1	42	43	87
(株) ニチイ学館	ニチイケアセンター 西岐波	4月	2	2	65	20	89
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	5	3	175	183	366
医療法人 和同会	宇部リハビリテーション病院在宅介護支援センター	4月	0	0	12	3	15
社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	2	1	68	40	111
有限会社 片倉温泉 くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	2	0	90	12	104
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	10	0	10
社会福祉法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	4月	0	1	18	12	31
合同会社 和み会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	3	1	23	12	39
ナースホーム立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	0	0	0	0	0
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	1	0	89	12	102
合同会社 ひだまりねっと	合同会社 ひだまりねっと	4月	0	0	0	12	12
医療法人 太白会	シーサイト病院居宅介護支援事業所	4月	0	0	1	0	1
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun to Life	4月	3	0	113	60	176
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター/みなみかぜ	4月	7	2	295	187	491
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	0	0	22	0	22
株式会社ふらっとCOMM.	ここからサポートセンター	4月	0	0	30	28	58
レナール企画	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	1	0	5	3	9
株式会社 サクラ	ケアビレッジ桜	4月	3	0	62	2	67
株式会社 高井福祉	ケアプラン らびっと	4月	0	1	12	21	34
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	0	0	0	1	1
社会福祉法人 扶老会	不老会ケアセンター	R8.2月	1	0	1	0	2
総 計	30事業所		38	19	1494	1249	2,800
包括受託法人(社会福祉法人 博愛会)運営事業所の合計件数		397件	14.2%				

令和7年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(西部1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件 数				合 計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	7	2	130	46	185
社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	0	0	40	12	52
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月	0	1	12	6	19
有限会社フレンドサービス	フレンドサービス	4月	1	2	67	6	76
山口宇部農業協同組合	JA山口宇部居宅介護支援事業所	4月	3	2	44	32	81
サンキ・ウエルビー株式会社	サンキ・ウエルビー介護センター宇部	4月	3	5	37	52	97
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	1	0	24	25
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	2	3	88	76	169
(有)アシステック・ドリビング村重	山ぼうし居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	12	24
立花居宅介護支援事業所	立花居宅介護支援事業所	4月	5	3	29	32	69
合同会社 壱番街	ケアマネセンター TONTON	4月	0	0	28	0	28
三和ヒューマンサポート(株)	西日本ケアプランセンター (6月よりケアプランセンターみなみかぜ)	4月	4	2	44	12	62
医療生活協同組合健文会	虹居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	2	2	31	8	43
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	7	2	33	15	57
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業者まどか苑	4月	0	0	7	9	16
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス 宇部南	4月	0	0	24	12	36
医療法人聖比留会	厚南セントヒル病院居宅支援事業所	4月	0	0	3	12	15
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里 居宅介護支援事業所	4月	2	8	144	825	979
株式会社ふらっとCOMM.	ここからサポートセンター	4月	1	0	20	0	21
合同会社アズユー	プラスワン	4月	0	0	0	17	17
合同会社danran	ケアマネセンターいろはに	4月	0	0	23	0	23
有限会社片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	0	1	0	11	12
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	1	1	3	10	15
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	0	0	1	11	12
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護事業所	4月	0	0	12	0	12
株式会社セービング	セービングケアプランセンター宇部	4月	1	0	23	3	27
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業輝き	4月	5	12	107	455	579
有限会社 希	居宅介護支援事業所 のぞみ	6月	1	0	3	0	4
社会福祉法人正清会	白松苑 居宅介護支援事業所	6月	0	1	16	12	29
社会福祉法人長寿会	長寿園居宅介護支援事業所	12月	1	0	1	4	6
総 計	31事業所		46	48	994	1714	2802
包括受託法人(医療法人 和同会)運営事業所の合計件数		185件	6.6%				

令和7年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(西部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件 数				
			初 回		継 続		合 計
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
一般社団法人宇部医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月			11		11
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	1		30		31
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス 宇部南	4月			11		11
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅支援事業所	4月			11		11
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月			3		3
合同会社アズユー	プラスワンプラン	4月		1	30	14	45
合同会社 danran	ケアマネセンター いろはに	4月			11		11
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	1	1	36	19	57
株式会社ふらっとCOMM	ここからサポートセンター	4月	1		13		14
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	1		19	17	37
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	3		164	19	186
特定非営利活動法人きょう・生	ケアマネセンター 共生	4月	1		6		7
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月			4		4
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所輝き	4月		1	72	113	186
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月	3	3	146	465	617
山口県農業協同組合	JA宇部居宅介護支援事業所	4月	1		22		23
サンキ・ウエルビー株式会社	サンキ・ウエルビー介護センター宇部	4月			3		3
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月			11		11
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月			2		2
三和ヒューマンサポート株式会社	ケアプランセンターみなみかぜ	4月	1		34	7	42
総 計	20事業所		13	6	639	654	1,312
包括受託法人(医療法人 博愛会)運営事業所の合計件数		223件	17.0%				

令和7年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(中部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件 数				
			初 回		継 続		合 計
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター 指定居宅介護支援事業所	4月	1	0	27	12	40
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	0	2	1	11	14
福祉生活協同組合 さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	38	6	44
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	3	2	260	141	406
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	3	6	132	285	426
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月	1	0	14	0	15
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所輝き	4月	0	0	0	17	17
社会福祉法人 むべの里光栄	オパール光栄在宅介護支援センター	4月	0	1	9	13	23
医療法人 博愛会	寿光園居宅介護支援事業所	4月	0	0	24	0	24
一般社団法人宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	0	2	135	14	151
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	0	0	12	0	12
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月	0	0	77	31	108
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月	0	0	14	0	14
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	3	3	126	94	226
社会福祉法人神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	0	0	15	21	36
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス宇部南	4月	0	0	31	7	38
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月	0	0	12	12	24
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	1	2	94	112	209
有限会社片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	1	0	12	0	13
株式会社 ふらっとCOMM.	ここからサポート	4月	1	0	20	12	33
合同会社 和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	1	1	21	0	23
三和ヒューマンサポート株式会社	ケアプランセンターみなみかぜ	4月	4	8	113	94	219
有限会社ろしゅう	ろしゅう居宅介護支援センター	4月	1	1	26	11	39
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業所まどか苑	4月	0	0	0	2	2
株式会社サクラ	ケアビレッジ桜 居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
合同会社アズユー	プラスワンプラン	4月	1	2	76	22	101
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	0	1	6	8	15
株式会社 マイプティット	在宅介護支援センターなのはなの家	4月	0	0	10	0	10
医療法人和同会	宇部リハビリテーション病院	4月	0	0	12	0	12
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	1	0	27	44	72
合同会社HACHAMATATA	ケアマネステーションFun to Life	4月	0	0	16	8	24
合同会社danran	ケアマネセンターいろはに	4月	0	0	12	12	24
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	0	0	49	5	54
株式会社 高井福祉	ケアプラン らびっと	4月	0	1	24	5	30
株式会社セービング	セービングケアプランセンター宇部	4月	1	4	29	63	97
有限会社ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月	0	0	12	0	12
株式会社YICTラスト	居宅介護支援事業所希望苑	4月	0	2	5	21	28
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	0	0	0	8	8
医療生活協同組合健文会	協立在宅介護支援センター	4月	1	0	8	0	9
医療法人聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	1	0	12	0	13
総 計	41事業所		25	38	1535	1091	2689
包括受託法人(社会福祉法人 むべの里光栄)運営事業所の合計件数			887件	33.0%			

令和7年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(中部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件 数				
			初 回		継 続		合 計
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	0	1	16	15	32
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	0	3	57	56	116
サンキ・ウエルビー株式会社	サンキ・ウエルビー介護センター宇部	4月	6	1	121	21	149
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	0	0	15	0	15
一般社団法人 宇部医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	1	1	14	7	23
特定非営利活動法人きょう・生	ケアマネセンター共生	4月	0	0	12	0	12
医療法人 和同会	宇部西在宅総合センター	4月	1	2	28	28	59
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	34	2	36
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	1	61	15	77
三和ヒューマンサポート株式会社	ケアプランセンターみなみかぜ(西日本ケアプランセンター)	4月	0	2	55	33	90
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	1	0	78	31	110
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター 春	4月	1	1	119	43	164
株式会社 ふらっとCOMM	ここからサポートセンター	4月	0	0	27	24	51
医療生活協同組合 健文会	協立在宅介護支援センター	4月	0	0	22	2	24
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	4	3	43	44	94
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業所 まどか苑	4月	1	0	2	8	11
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月	3	6	133	59	201
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	0	1	69	10	80
合同会社 美咲	居宅介護支援事業所 美咲	4月	2	1	40	8	51
山口県農協協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月	0	0	12	0	12
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月	0	0	42	176	218
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月	1	1	47	196	245
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 博愛園	4月	0	0	52	108	160
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所 輝き	4月	4	1	85	186	276
株式会社 マイプティット	在宅介護支援センター なんのはなの家	4月	0	0	17	0	17
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun to Life	4月	0	0	16	4	20
有限会社 ろしゅう	ろしゅう居宅介護支援センター	4月	0	0	34	0	34
合同会社 壱番街	ケアマネセンター TONTON	4月	0	0	27	2	29
合同会社 和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	1	0	38	35	74
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス	4月	1	0	93	37	131
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス 宇部南	4月	2	0	76	43	121
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	3	7	31	1	42
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	26	6	32
株式会社YICTラスト	居宅介護支援事業所 希望苑	4月	2	1	23	25	51
合同会社 アズユー	プラスワンプラン	4月	0	1	57	21	79
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	0	0	22	13	35
医療法人 和同会	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	4月	0	0	4	0	4
合同会社 danran	ケアマネセンター いろはに	4月	1	1	10	15	27
有限会社 希	居宅介護支援事業所 のぞみ	4月	0	0	11	2	13
株式会社 高井福祉	ケアプラン らびっと	4月	0	0	15	1	16
社会福祉法人 正清会	白松苑居宅介護支援事業所	6月	0	0	26	1	27
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所 宇部あいおい苑	R8.3月	1	0	0	0	1
株式会社 セービング	セービングケアプランセンター宇部	4月	3	2	89	20	114
総 計	43事業所		39	37	1,799	1,298	3,173
包括受託法人(社会福祉法人 神原苑)運営事業所の合計件数		116件	3.7%				

令和7年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(北部東包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件 数				
			初 回		継 続		合 計
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人アスワン山荘	アスワン山荘居宅介護支援事業所	4月	4		89	48	141
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月			11		11
医療法人社団山岸内科	ケアホーム小郡ケアマネセンター	4月				24	24
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	1	1	44	4	50
医療法人和同会	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	4月				3	3
社会福祉法人泉仁会	在宅介護支援センター豊生苑	4月			58	12	70
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月			13		13
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月			12		12
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス宇部南	4月			12		12
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅支援事業所	4月			10	48	58
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅支援事業所輝き	4月			36		36
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	1		15		16
合同会社アズユー	プラスワンプラン	4月			48	13	61
有限会社希	居宅介護支援事業所のぞみ	4月				12	12
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプラン→ケアプランセンターみなみかぜ	4月			12	12	24
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月				4	4
株式会社YICTラスト	居宅介護支援事業所希望苑	4月			12		12
株式会社セービング	セービングケアプランセンター宇部	5月	2	1	11	1	15
総 計	18事業所		8	2	383	181	574
包括受託法人(社会福祉法人 アスワン山荘)運営事業所の合計件数		141件	24.6%				

令和7年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（北部西包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件 数				
			初 回		継 続		合 計
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人 扶老会	扶老会 総合ケアセンター	4月	2	2	126	26	156
(株)愛優会	ケアマネセンター 未来	4月			4		4
有限会社 希	居宅介護支援事業所 のぞみ	4月			17		17
(株)河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス	4月			10		10
医療法人社団 泉仁会	在宅介護支援センター 豊生苑	4月			36		36
社会福祉法人 むべの里	むべの里 居宅介護支援事業所	4月				23	23
合同会社 アズユー	プラスワンプラン	4月			12	6	18
合同会社 danran	ケアマネセンター いろはに	4月			12		12
合同会社 結	ケアマネセンター 伽野	4月			10		10
三和ヒューマンサポート株式会社	ケアプランセンターみなみかぜ	6月			1		1
総 計	10事業所		2	2	228	55	287
包括受託法人(社会福祉法人 扶老会)運営事業所の合計件数		156件	54.4%（※委託先事業所の職員不足で委託分が返ってきたため）				

令和7年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(南部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件 数				
			初 回		継 続		合 計
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
医療生活協同組合 健文会	協立在宅介護支援センター	4月	5	0	186	70	261
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所 宇部あいおい苑	4月	1	0	7	11	19
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	2	0	3	2	7
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
一般社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	3	0	70	3	76
医療法人 和同会	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	4月	0	0	7	0	7
社会福祉法人 むべの里光栄	オパール光栄在宅介護支援センター	4月	0	0	0	12	12
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	0	0	30	0	30
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	34	0	34
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	1	0	11	0	12
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス	4月	0	0	24	1	25
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス宇部南	4月	0	0	5	0	5
株式会社YICTラスト	居宅介護支援事業所 希望苑	4月	0	0	0	16	16
有限会社ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	1	0	14	0	15
株式会社ふらっとCOMM.	ここからサポートセンター	4月	6	1	72	11	90
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	4月	1	1	12	1	15
サンキ・ウェルビー株式会社	サンキウエルビー介護センター宇部	4月	0	0	12	12	24
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	1	0	11	0	12
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	1	0	8	12	21
株式会社セービング	セービングケアプランセンター宇部	4月	1	2	20	26	49
合同会社 和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	1	3	77	73	154
株式会社 マイプティット	在宅介護支援センター なのはなの家	4月	0	0	0	6	6
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	2	1	64	30	97
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	10月	0	1	0	4	5
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーションFun to Life	4月	0	0	24	12	36
合同会社 アズユー	プラスワンプラン	4月	0	0	0	23	23
合同会社 美咲	居宅介護支援センター美咲	4月	1	0	18	0	19
三和ヒューマンサポート株式会社	ケアプランセンターみなみかぜ	4月	1	0	72	26	99
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	0	1	0	57	58
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	1	6	153	480	640
株式会社高井福祉	ケアプランらびっと	4月	0	0	12	0	12
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	10月	0	1	1	0	2
総 計	32事業所		29	17	959	888	1,893
包括受託法人(医療生活協同組合 健文会)運営事業所の合計件数		261件	13.8%				

令和7年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(南部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件 数				
			初 回		継 続		合 計
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人ひとつの会	宇部あいおい苑	4月	1	2	22	6	31
社会福祉法人博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	9月	1	0	7	0	8
一般社団法人宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	2	3	158	37	200
有限会社片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	1	0	13	0	14
医療法人聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	2	0	11	0	13
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月	1	0	62	36	99
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	1	12	12	25
社会福祉法人神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	3	1	50	19	73
医療生活協同組合健文会	協立在宅介護支援センター	4月	2	5	51	46	104
合同会社壱番街	ケアマネセンターTONTON	4月	0	1	42	1	44
特定非営利活動法人きょう・生	ケアマネセンター共生	4月	0	0	12	0	12
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	1	3	33	37	74
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	4月	1	1	23	8	33
株式会社セービング	セービングケアプランセンター宇部	4月	4	4	37	21	66
医療法人仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	2	0	40	10	52
合同会社和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	2	1	38	8	49
合同会社アズユー	プラスワンプラン	4月	0	3	21	62	86
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	1	4	69	103	177
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	0	4	87	386	477
株式会社高井福祉	ケアプランらびっと	4月	0	0	16	0	16
三和ヒューマンサポート株式会社	ケアプランセンターみなみかぜ	4月	12	7	150	87	256
合同会社美咲	居宅介護支援事業所 美咲	4月	0	0	4	8	12
株式会社きわなみ	株式会社 きわなみ	4月	0	0	12	0	12
有限会社フレンドサービス	フレンドサービス	4月	0	0	0	6	6
合同会社danran	ケアマネセンターいろはに	4月	0	0	12	0	12
合同会社HACNAMATATA	ケアマネステーションFun To Life	4月	0	0	12	0	12
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス宇部南	4月	1	0	15	15	31
株式会社ふらっとCOMM	ここからサポートセンター	4月	3	1	37	19	60
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	7月	0	2	0	15	17
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター	4月	0	0	0	6	6
株式会社マイプティット	在宅介護支援センターなのはなの家	4月	0	0	6	0	6
株式会社YICTラスト	居宅介護支援事業所 希望苑	4月	1	0	17	0	18
総 計	32事業所		41	43	1069	948	2101
包括受託法人(医療法人仁心会)運営事業所の合計件数		52件	2.5%				

令和 8 年度 宇部市地域包括支援センター事業実施方針

宇部市では、第 9 期宇部市高齢者福祉計画の中で、基本理念（目指すまちの姿）として『高齢者が生きがいを持って自分らしく暮らせる支え合い助け合う地域共生のまち』を掲げています。地域包括支援センターは、上記の基本理念を実現するために、地域の現状・課題を捉え、その課題を解決するために事業を実施することとします。

令和 8 年度本事業を実施するにあたり、地域包括支援センターは下記の重点施策に取り組みます。

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践
・ 高齢者が介護予防について関心を持ち、普段の生活の中で積極的に取り組むことができるよう介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。 ・ 身近な地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、高齢者の健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行い、保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。 ・ 高齢者の身の回りにあるあらゆる資源を活用・提案し、自分らしい活動的な生活を継続できるマネジメントを行うために、地域資源のとらえ方・自立支援の考え方を支援者間で浸透させていく。
2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）
・ 認知症と共に生きる人たちができる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、早期の相談や家族の支援体制を強化する。（相談窓口の周知・認知症カフェの開設、開催支援等） ・ 認知症サポーターの養成等により、地域、職域及び学校に対して認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。 ・ 地域活動を通じて認知症当事者及び家族の困りごとや希望を収集し、その意見を反映したチームオレンジの発展的な取り組みにより共生社会を推進する。
3 地域支援体制の強化
・ 地域住民が安心して暮らすための「地域支え合い包括ケアシステム」をさらに進め、分野横断的に連携して相談対応ができる体制づくりを行い、ネットワークの拡大強化を図る。 ・ 民生児童委員や関係機関等とともに高齢者が孤立することのないよう地域での見守り支援を行う。 ・ 生活支援コーディネーターや住民等と協働で地区単位での支え合い会議を開催し、地域課題の把握や解決に向けた協議を行う。
4 アウトリーチ等を通じた継続的支援
・ 複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人を把握し、家庭訪問及び同行支援など継続的な支援を行う。 ・ 地域住民の通いの場や支援関係機関等に積極的に出向き、潜在的な課題の早期発見、早期支援に努める。
5 社会参加に向けた支援
・ 社会的孤立等の課題を抱える人に対し、本人の強みを活かすことができる社会資源を提供し、地域で自分らしく生きがいを持って生活できるよう支援する。 ・ 課題解決にあたっては、宇部市社会福祉協議会等地域づくり関係機関と連携し、多様な社会資源の創出に向けた取り組みを行うとともに、地域全体で見守りやつながりづくりを促進する体制構築の支援を行う。

令和 8 年度 地域包括支援センター事業計画書

東部第 1 地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践

事業計画				
・地域住民主体のサロンや認知症カフェ等、地域の住民が集う場所に積極的に参加し、包括支援センターの周知啓発を行うとともに、介護予防・健康づくりに関する講話や実技を実施する。 ・支援チームと協働し、スーパーや金融機関において健康福祉相談室を開催し、介護予防や健康づくりの普及啓発を行う。 ・「ほうかつカフェ」を毎月開催し、個別相談の対応および地域の困りごとの把握を行う。 ・高齢者が地域の社会資源を活用しながら自分らしい生活を継続できるよう、課題の検討および具体的な支援提案を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）	各地区6回以上／年	東岐波10回 川上 15回	毎月、各地区の既存の健康教室（3か所）および健康福祉相談室（3か所）に出向くとともに、新たな会場にも積極的に訪問し、出前講座やチラシ配布を実施する。
	②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等、大衆アプローチによる介護予防）	各地区10回以上／年	東岐波10回 川上15回	各地区のサロン（3か所）等に参加し、包括支援センターが講義やレクリエーションを実施するとともに、フレイルや認知症予防に関する講義を実施する。
	③自立支援型地域ケア会議の検討を生かし、高齢者が自分らしい生活を継続するための資源の活用につなげる。	5件／年	5件／年	既存の地域サロンに出向き、定期的な情報交換を行うとともに、地域資源を活用しながら、高齢者が自分らしい生活を継続できるよう支援する。
独自	①健康福祉相談室を、東岐波地区では年2回、川上地区では年1～2回実施する。 修正案②（計画書向け）	1件／年	東岐波5回 川上 5回	東岐波郵便局や東岐波祭り等において、健康福祉相談室を実施する。川上地区では、スーパーや川上祭り、ふれあいセンターにおいて、健康測定会や認知症に関する啓発活動を行う。
	②ほうかつカフェを月1回開催し、介護予防および認知症予防を意識した内容で実施する。	毎月	毎月	毎月第3土曜日に「ほうかつカフェ」を開催し、外部講師を招くとともに、介護予防および認知症に関する啓発を行う。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

事業計画				
・サロンや自治会、民生委員を対象に、認知症への理解を深めるための普及啓発や講話を実施する。 ・認知症の人やその疑いのある人が早期に相談につながるよう、地域住民や民生委員、医療機関等との連携体制の強化を図る。 ・認知症カフェや「ほうかつカフェ」等において、プラチナサポーターとの交流会を開催し、チームオレンジの構築を推進する。 ・既存の認知症カフェに継続的に参加し、関係づくりと情報収集を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）	4回以上／年	6回以上	毎月「ほうかつカフェ」を開催し、当事者に声かけしやすい関係の構築を図る。あわせて、既存の認知症カフェ（隔月）および地域サロンの開催支援を継続する。
	②小学生から働く世代に対して認知症の正しい理解を促進し、共生社会の実現を推進する。（認知症サポーター養成講座等）	20人以上参加／年	20人以上参加／年	地域の認知症カフェやサロンと連携し、認知症に関する講座（講話）を実施する。 認知症に関する啓発イベントを開催する。
	③認知症当事者及び家族の困りごとや希望の聴取をする。	10件 （各地区3～5件）	東岐波5回 川上 5回	既存の認知症カフェや地域交流の場を活用し意見の聴取を行う。また、必要に応じて個別訪問を実施し、日常生活の状況や潜在的なニーズの把握に取り組む。
独自	①「ほうかつカフェ」は、プラチナサポーターの協力を得て開催し、当事者や家族の参加を促すとともに、相談対応や支援を行う。	毎月	毎月	プラチナサポーターが講師やサポートとして、認知症予防体操やレクリエーションを実施し、認知症予防の普及啓発を図る。

3 地域支援体制の強化

事業計画				
・東部ブロック会議（地域ケア会議）を開催し、医療・保健・福祉関係者と事例検討や意見交換を行うことで、地域の現状や課題を把握・検討する。 ・地域住民や民生委員、福祉委員、社会福祉協議会、支援チーム、何でも相談員と随時情報共有を行い、協働して地域の見守り支援や課題について把握・検討する。 ・地域の医療機関や薬局、スーパー、コンビニ、美容院等を訪問し、顔の見える関係づくりを行うとともに、見守りの支援体制を構築する。				
		指標	計画	取組計画
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）	3回以上／年	3回以上	東部地区地域ケア会議（東部ブロック会議）を年3回実施する。
	②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う。 （地域の会議・支え合い会議・行事に参加）	各地区3回以上／年	東岐波3回 川上3回	東岐波支え合い会議、東岐波自主防災会議、川上地域見守り支援の取組に参加し、関係機関との連携強化を図る。
独自	①サロンや地域の行事に積極的に参加し地域住民に受け入れられる関係づくりを継続する。	各地区2回以上／年	東岐波2回 川上2回	サロンだけでなく地域イベントにも参加する。また、業務時間外においても、地域祭りや施設祭り、美化・清掃活動等の多団体が参加する行事に参加し、交流を図る。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

事業計画				
・行政、支援チーム、社会福祉協議会等と定期的に情報共有を図り、地域の課題把握に努める。 ・地域住民や民生委員、福祉委員と顔の見える関係づくりを推進する。 ・サロンや地域行事に参加し、課題を抱える人や地域課題の早期把握に努める。 ・複合的な課題を抱える世帯については、包括支援センター、支援チーム、関係機関と連携し、情報共有を行いながら支援方法の検討を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①アウトリーチを実施した実機関数	30機関／年	30機関	医療・福祉関係者、民生委員、郵便局、地域サロン等から情報提供を受け、必要に応じて関係機関と連携し、支援につなげる。
	②アウトリーチにより把握した実相談件数	15件／年	15件／年	ほうかつカフェや出前講座等の場を活用し、相談機会の拡充を図るとともに、対象者に対して継続的な訪問や声かけを行う。
独自	①地域住民に受け入れられる関係づくりを通じて、信頼関係の構築を図る。	毎月	毎月	毎月、サロンや地域行事において「何でも相談窓口」の周知を図り、相談しやすい環境づくりを進める。
	②個別訪問し問題等抱えていないか把握する。	1回／月	1回／月	個別訪問を行い、生活上の問題や課題の有無を把握し、必要に応じて支援につなげる。

5 社会参加に向けた支援

事業計画				
・福祉総合相談事業、社会的孤立等を抱える人に対し、包括支援センター、支援チーム、関係機関と連携しながら支援方法を検討し、社会参加の促進に向けて働きかける。 ・地域支え合い推進事業、不足している社会資源の把握に向けて、地域や関係機関と随時情報共有を図るとともに、新				
		指標	計画	取組計画
基本	①社会参加に向け連携した実機関数	15件／年	20件／年	支援チーム、医療機関、民生委員および地域関係機関と連携し、連絡・調整や会議を通じて支援方法の検討を行う。
	②地域ニーズ（個別課題・地域課題）とのマッチング実件数	5件／年	5件／年	個別訪問や関係機関からの情報収集によりニーズを把握し、関係機関等と連携して支援方法を検討するとともに、地域資源の情報提供や同行支援等によりサービス利用や社会参加につなげる。
	③新たな地域資源の創出に向けた取り組みを行った実件数	2件／年	2件／年	サロンや各地区の支え合い会議の取組に継続的に参加し、関係機関との連携強化を図る。

令和 8 年度 地域包括支援センター事業計画書

東部第 2 地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践

事業計画				
・住み慣れた地域で安心した生活を継続出来るように、地域住民を対象として介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・チラシ配布等） ・地域での住民主体のサロン等の通いの場へ積極的に関与し、地域や健康に関する課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。 ・支援者が地域資源や自立支援について考え、高齢者の身の周りにある、あらゆる資源を活用・提案でき、その人らしさを活かした生活のお手伝いをする。				
		指標	計画	取組計画
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）	各地区6回以上／年	各地区6回以上／年	健康福祉相談室を各地区で継続実施し参加者への介護予防等の普及啓発を実施。そして、地域住民への健康づくり等についての知識の提供を行う。
	②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等、大衆アプローチによる介護予防）	各地区10回以上／年	各地区10回以上／年	地域サロン等、地域の集いの場を活かし、健康づくりやフレイル予防、認知症予防についての情報提供を行い、知識を深め地域住民の取り組みを支援・推進する。
	③自立支援型地域ケア会議の検討を生かし、高齢者が自分らしい生活を継続するための資源の活用につなげる。	5件／年	5件／年	自立支援型地域ケア会議を通して、高齢者にとっての資源についての理解を深めると共に資源発掘の視点を養い、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活が出来るよう支援していく。
独自	①地域住民を対象とした健康福祉相談室開催や地域サロンにおいて、フレイル予防にも着眼した支援を行い、保健事業と介護予防の一体的実施を推進する。		各地区3回／年	各地区において地域のあらゆるサポーターや関係機関と協力し、健康福祉相談室の開催等、保健事業と介護予防を一体的実施した。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

事業計画				
・地域住民が認知症を理解し認知症当事者やその家族が地域で共に生活していくために、認知症についての理解や対応等を知る事で身近に感じることが出来るよう、行政と連携し認知症サポーター養成講座等を行い、幅広い世代への啓発活動を行っていく。 ・認知症高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、早期の相談や家族の支援体制を強化する。地域拠点において、相談窓口の周知や認知症の方の家族支援者が集まり、悩みを話せる場となる認知症カフェ開催の継続を行う。 ・認知症当事者や家族、プラチナサポーターと共にチームオレンジを構築する活動を各地区において実施し、地域団体と共に組織化に取り組む。				
		指標	計画	取組計画
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）	4回以上／年	4回以上／年	既存の認知症カフェの継続開催支援及び新規開設支援を行う。
	②小学生から働く世代に対して認知症の正しい理解を促進し、共生社会の実現を推進する。（認知症サポーター養成講座等）	20人以上参加／年	20人以上参加／年	地域や各種団体に働きかけ、幅広い世代を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症についての正しい理解を得ると共に、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。
	③認知症当事者及び家族の困りごとや希望の聴取をする。	10件 (各地区3～5件)	10件 (各地区3～5件)	面談を通して認知症当事者やその家族の困りごとの本質や課題を知る事で、解決策を見出す。
独自	①認知症カフェの継続開催と共に、内容や参加者の拡充や拡大、そして新たな認知症カフェの創設を行う。		1件／年	既存の認知症カフェの開催支援に加え、内容の拡充や支援者の拡大を行い、参加者を増やす。また、新たな認知症カフェ創出の支援を行う。
	②プラチナサポーターの活動支援を行う。		2件／年 各地区1件	プラチナサポーターへの働きかけを行い活動についての働きかけやサポーターのニーズ把握を行い、より良い活動が実施出来るよう支援する。

3 地域支援体制の強化

事業計画				
・ 支え合い会議を活用し、地域や各関係団体と連携を図り支援者の早期発見や体制作りに向けた取り組みを行っていく。 ・ 地域ケア個別会議による個別ケースの検討について積極的に取り組み、地域課題や効果的な取り組み、手法等について地域で共有することにより地域全体の支援やケアの向上を図る。 ・ ふれあいセンターや地区担当保健師や社会福祉協議会と連携し、介護予防や健康づくり事業に参加協力する。 ・ 民生委員協議会等、関係者連絡会議へ参加し、関係者との情報共有及び連携を図る。				
		指標	計画	取組計画
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）	3回以上／年	3回以上／年	東部圏域で年間テーマを基に地域ケア会議を実施すると共に、地域課題の抽出と解決策を会議にて検討する。
	②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う。 （地域の会議・支え合い会議・行事に参加）	各地区3回以上／年	各地区3回以上／年	地域で実施されている支え合い会議や地域の会議や行事に参加し、地域課題の把握や解決策について共に協議を行う。
独自	①地域住民を始め民生児童委員や福祉委員、医療・福祉関係者との連携や意見交換を積極的に行い、地域のニーズ把握や課題解決を図る。		各地区3回以上／年	各機関や団体の会議等へ積極的に参加し、地域状況の把握等の情報収集を始め、意見交換等を行い、地域ニーズを明らかにするとともに課題を解決する

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

事業計画				
・複合化、複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人を把握し、家庭訪問及び同行支援など継続的に支援を行う。 ・課題解決のために関係機関等へのアウトリーチ活動を実施する。福祉分野に限らず、地域住民や行政・医療・教育・企業等分野を越えたネットワークづくりを進める。また、地域に根付いているあらゆる商業施設等への広報誌の配布先開拓を図るとともにネットワークづくりを進める。 ・地域のサロンへ健康教室へ参加し、相談・支援窓口としての周知、拡大を図る。				
		指標	計画	取組計画
基本	①アウトリーチを実施した実機関数	30機関／年	30機関／年	各関係機関に加え、地域に根付く商業施設等へのネットワークづくりを行う。
	②アウトリーチにより把握した実相談件数	15件／年	15件／年	支援に繋がらない地域住民に対し、情報提供や声かけを行う。
独自	①地域のサロンや健康教室等へ参加しニーズの掘り起こしを行うとともに相談しやすい窓口を設ける。		40回／年	地域で実施されているサロンや健康教室に月４回程度計画的に出向き、相談を受けたり、内容によっては後日電話や来所、訪問による相談が出来るようお互いの顔が見える関係づくりを行う。
	②東部第２地域包括支援センターの広報誌に、なんでも相談窓口コーナーを設け、高齢者に限らず幅広い年代等地域住民への周知に努める。		3回／年	役立つ相談事例、身近な相談事例、他機関に繋いだ事例棟を掲載し、相談しやすい「なんでも相談窓口」をPRする。また、配布先の開拓に努める。

5 社会参加に向けた支援

事業計画				
①福祉総合相談事業 社会的孤立等の課題を抱える人に対し、本人の強みを活かすことが出来る社会資源を提供し、地域で自分らしく生きがいを持って生活できるよう支援する。 ②地域支え合い推進事業 課題解決にあたっては、宇部市社会福祉協議会等地域づくり関係機関と情報共有し、社会資源の創出に向けた取り組みを行うとともに、地域全体で見守りやつながりづくりを行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①社会参加に向け連携した実機関数	15件／年	15件／年	社会参加に向けた実施機関と支援に向けたネットワーク作りを行う。
	②地域ニーズ（個別課題・地域課題）とのマッチング実件数	5件／年	5件／年	個別の課題や地域の課題に対し、社会資源を把握しながら地域ニーズに沿った支援を行う。
	③新たな地域資源の創出に向けた取り組みを行った実件数	2件／年	2件／年	サロンや地域ケア会議、支え合い会議等を通して、ニーズの収集や資源を把握する。
独自	①社会資源の把握と情報更新を実施する。		1回／年	把握している社会資源について情報の更新を行うとともに、地域に根付く社会資源の発掘を行う。
	②地域の助け合い活動実施に向けての支援を行う。		6回／年	地域の話し合いの場を通して新たな助け合い活動を支援し、地域全体での見守りや、つながりづくりを行う。

令和 8 年度 地域包括支援センター事業計画書

西部第 1 地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践

事業計画				
○地域の関係機関と協働し、健康づくりや介護予防、認知症予防に関して意識を高めていけるよう普及・啓発を行う。 ○ご本人の興味・関心のあることを理解し、自分らしい生活、活動ができるよう支援していく。				
		指標	計画	取組計画
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）	各地区6回以上／年	各地区6回以上／年	日常生活の中で習慣的に健康、運動、社会参加に取り組めるよう啓発を行う。
	②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等、大衆アプローチによる介護予防）	各地区10回以上／年	各地区10回以上／年	地域住民の意向に沿った内容で健康づくり、フレイル予防、認知症予防について啓発していく。 認知症カフェの毎月開催。 出張型カフェの継続。
	③自立支援型地域ケア会議の検討を生かし、高齢者が自分らしい生活を継続するための資源の活用につなげる。	5件／年	5件／年	あらゆるものを社会資源と捉え、自立支援の視点を理解し、ご本人の主體的な取り組みを支援していく。
独自	①介護予防や意欲、楽しみに繋がる新たなサロンの開設		毎週 1 回	人と繋がる、仲間づくりとなる場を提供し、健康・活動・意欲に繋げていく。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

事業計画				
○早期に相談・対応できるよう、民生・児童福祉委員や医療機関等との連携や集いの場の開催を通じ窓口としての機能を周知していく。 ○認知症に関する活動（カフェ、認知症サポーター養成講座など）にプラチナサポーターとして協力してもらえるよう、圏域交流会を通じてチームオレンジの構築を図る。 ○多世代に向け認知症への理解を深めてもらえるよう、継続的に働きかけていく。				
		指標	計画	取組計画
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）	4回以上／年	4回以上／年	おれんじかぞくとFITカフェの継続開催。 プラチナサポーターを中心にカフェ企画から実践を行う。
	②小学生から働く世代に対して認知症の正しい理解を促進し、共生社会の実現を推進する。（認知症サポーター養成講座等）	20人以上参加／年	20人以上参加／年	多世代に向け認知症サポーター養成講座が継続開催出来るよう働きかけを行う。 地域での認知症勉強会の開催を継続する。
	③認知症当事者及び家族の困りごとや希望の聴取をする。	10件 （各地区3～5件）	10件 （各地区3～5件）	当事者や家族を取り巻く環境や想いを理解し、課題把握に努める。
独自	①認知症カフェを毎月開催とし、軽度認知症の方の早期発見や相談窓口の周知に努める		月1回	当事者同士の交流となるよう毎月開催し、互いの日常生活や困り事について話し合える場となるよう働きかけていく。 民生委員や地域事業所と連携を図り、認知症の方の早期発見に努める。

3 地域支援体制の強化

事業計画				
○地域ケア会議（西部ブロック会議）にて圏域アンケートの内容に沿った事例を検討、圏域内課題を把握し、地域における支援体制づくりに繋げていく。 ○関係機関と共に、地域の困りごとや課題について自治会単位で話し合いを開催していく。				
		指標	計画	取組計画
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）	3回以上／年	3回以上／年	地域ケア会議（西部ブロック会議）や西部圏域事業所を対象とした勉強会の開催。
	②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う。 （地域の会議・支え合い会議・行事に参加）	各地区3回以上／年	各地区3回以上／年	民生児童委員協議会への参加や地域のサロンや地区行事への参加を通じて地域課題を把握、都度、協議していく。
独自	①自治会単位での話し合いを関係機関と共に行い、地域課題と支援体制について情報共有する。		4ヶ所	課題と各自治会の独自の取り組みなど実態把握に努め、必要に応じて関係機関（三者協議含む）に繋いでいく。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

事業計画				
・ 地域住民の通いの場や支援関係機関等に積極的に向かい合うことで、複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人を把握する。 ・ 困難な課題を抱える事例の支援にあたっては、必要により関係機関などの協力を得ながら家庭訪問及び同行支援などを継続的に行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①アウトリーチを実施した実機関数	30機関／年	30機関／年	公的機関15件 福祉関係機関10件 その他5件
	②アウトリーチにより把握した実相談件数	15件／年	15件／年	各地区民生委員福祉委員10件 その他5件
独自	①地区民生委員協議会・地域団体の会議への参加		15回／年	地区民生委員協議会8回 地縁団体3回 その他地域の活動団体4回
	②地域のサロン等、集いの場への参加		10回／年	サロン・健康教室への参加6回 地域団体が行う「集い」を目的とする行事への参加4回

5 社会参加に向けた支援

事業計画				
・社会的孤立等の課題を抱える人に対し、本人の強みを活かすことができる社会資源を提供し、地域で自分らしく生きがいをもって生活できるよう支援する。 ・関係機関と連携しながら、多様な社会資源の活用や創出に向けた取り組みを行う中で社会参加に向けた支援を行う。 ・地域全体で見守りやつながりづくりを促進する体制構築の支援を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①社会参加に向け連携した実機関数	15件／年	15件／年	市社会福祉協議会など公的機関10件 民間機関・医療機関など5件
	②地域ニーズ（個別課題・地域課題）とのマッチング実件数	5件／年	20件／年	個別課題17件 地域課題3件
	③新たな地域資源の創出に向けた取り組みを行った実件数	2件／年	2件／年	新たなサロン創出1件 その他の地域資源1件
独自	①社会資源の創出に向けた関係機関会議の開催		6回／年	三者協議3回 その他の支え合い会議3回
	②自治会単位で行う話し合いの場等において見守りやつながりづくりを促進する。		3回／年	地域との話し合いの場を活用2回 地域の地縁団体や活動団体との交流において協議1回

令和 8 年度 地域包括支援センター事業計画書

西部第2地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践

事業計画				
・高齢者が介護予防について関心を持ち、普段の生活の中で積極的に取り組むことができるよう介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。 ・自立してサロン等を実施できるように支援し健康寿命の延伸の一助とする。 ・高齢者が身の回りにある資源を活かし自分らしい活動が出来るよう、関係者と共に支援する。				
		指標	計画	取組計画
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）	各地区6回以上／年	各地区6回以上／年	既存の教室または要請があったものに対して引き続き参加し、普及・啓発を行う。
	②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等、大衆アプローチによる介護予防）	各地区10回以上／年	各地区10回以上／年	地域住民が主体となって実施できるよう、サロンを支援する。 既存のサロンを継続していく。
	③自立支援型地域ケア会議の検討を生かし、高齢者が自分らしい生活を継続するための資源の活用につなげる。	5件／年	5件／年	高齢者が自分らしい生活を継続出来るよう資源の情報提供をしていく。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

事業計画				
・ 認知症と共に生きる人たちがでじきる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、相談窓口の周知、認知症カフェの継続、認知症サポーターの養成をし、地域や学校・若い世代に対して認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発する。 ・ 地域活動を通じて認知症当事者及び家族の困りごとや希望を収集し、プラチナサポーターとともにその意見を反映したチームオレンジの取り組みを行い共生社会を推進する。				
		指標	計画	取組計画
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）	4回以上／年	10回以上／年	プラチナサポーターと協力し、認知症カフェ（ほっこりほっこり）を開催する。また、啓発にも力を入れる。
	②小学生から働く世代に対して認知症の正しい理解を促進し、共生社会の実現を推進する。（認知症サポーター養成講座等）	20人以上参加／年	20人以上参加／年	自治会および中学校で認知症サポーター養成講座を開催
	③認知症当事者及び家族の困りごとや希望の聴取をする。	10件 (各地区3～5件)	10件 (各地区3～5件)	相談の場の他、認知症カフェの場などでも、認知症当事者及び家族の困りごとや希望を聴取していく。

3 地域支援体制の強化

事業計画				
・地域住民が安心して暮らすために、地域住民や関係機関と連携し、相談対応ができる体制づくりを推進していく。 ・民生委員や福祉委員等とともに、高齢者が孤立することのないよう地域での見守り支援を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）	3回以上／年	3回以上／年	地域ケア会議（西部ブロック会議）等の開催。
	②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う。 （地域の会議・支え合い会議・行事に参加）	各地区3回以上／年	各地区3回以上／年	地域主催の会議に積極的に参加し、地域住民と共に一丸となって取り組む。
独自	①支援者（民生児童委員等）が活動しやすくなるための支援		黒石： 10回以上 原： 10回以上	民生委員の定例会に参加したり、関係機関とのつながりができるように支援する。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

事業計画				
・複雑な課題を抱えながらも支援が届いていない人を把握し、関係機関と連携して継続的な支援を行う。 ・地域に積極的に向き、潜在的な課題の早期発見・早期支援に努める。				
		指標	計画	取組計画
基本	①アウトリーチを実施した実機関数	30機関／年	30機関／年	サロン・地域団体・自治会等でアウトリーチを実施
	②アウトリーチにより把握した実相談件数	15件／年	15件／年	サロン・地域団体・自治会・来所等で実施

5 社会参加に向けた支援

事業計画				
・社会的孤立等を抱える人に対し、関係機関と連携して本人の強みを活かすことが出来る社会資源を提案し、自分らしく生活できるよう働きかけていく。 ・市社会福祉協議会等地域づくり関係機関と連携し、多様な社会資源の創出に繋がる様な取り組みに努めるとともに、地域全体で見守りやつながり作りが進むような体制づくりへの支援を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①社会参加に向け連携した実機関数	15件／年	15件／年	公的機関や福祉関係者の他、地域で連携できる箇所を増やしていく。
	②地域ニーズ（個別課題・地域課題）とのマッチング実件数	5件／年	5件／年	サロンや地域活動へ参加しニーズをつかみマッチングしていく。
	③新たな地域資源の創出に向けた取り組みを行った実件数	2件／年	2件／年	地域資源の創出を念頭に置いて通年活動していく。

令和 8 年度 地域包括支援センター事業計画書

中部第1地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践

事業計画				
・地域の方に介護予防について正しい知識や技術の普及と啓発を行い関心を持って頂く。地域の中で生活者して元気に暮らしをしていただく活動や取り組みの情報提供を行う。 ・地域でのサロン等 集いの場を積極的に伺いながら、地域の活動状況のなかで健康課題やフレイル予防、認知症予防の支援を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）	各地区6回以上／年	各地区6回以上／年	地域住民を対象とした介護予防健康づくりに関する知識の提供普及啓発に取り組む。
	②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等、大衆アプローチによる介護予防）	各地区10回以上／年	各地区10回以上／年	地域サロン等、地域の集まりの場を活かし、地域包括もでむき、健康づくりやフレイル予防、認知症予防について知識の提供や取り組みを支援、推進する。
	③自立支援型地域ケア会議の検討を生かし、高齢者が自分らしい生活を継続するための資源の活用につなげる。	5件／年	5件／年	多職種等での自立支援型地域ケア会議を通して、個人資源の発掘や社会資源の提供を行っていく。
独自	①地域住民を対象とした介護保険外の地域圏域内の介護予防活動の紹介	12件／年	12件／年	サロンに出向いて把握したケースやサービスにつながらないケースについて、制度外の介護予防活動住民の取り組みの紹介を行う。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

事業計画				
・全世代の地域住民に対し、認知症に関する正しい知識と認知症の人に関する正しい理解が深められるように周知啓発を行う。 ・認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、早期の相談や家族を啓発すると共に地域見守りの体制構築の支援を行うようにする。				
		指標	計画	取組計画
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）	4回以上／年	12回以上／年	認知症カフェ するるカフェの開催支援を行う。 地域住民 地域関係者に対して認知症カフェの周知を行う。
	②小学生から働く世代に対して認知症の正しい理解を促進し、共生社会の実現を推進する。（認知症サポーター養成講座等）	20人以上参加／年	20人以上参加／年	小羽山・上宇部小の児童、その保護者や認知症に対する理解を促進する学習会や交流会を開催する。学校現場に挨拶に伺う。
	③認知症当事者及び家族の困りごとや希望の聴取をする。	10件 (各地区3～5件)	10件 (各地区3～5件)	認知症当事者との交流を大切にする。地域包括として、当事者の言葉に素直に耳を傾ける。当事者の言葉から本人の生活目標を伺う。
独自	①上宇部中学校 との定期的な交流を行う。子どもたちに認知症や高齢者に対する理解を深める。	3件／年	3件／年	令和7年度も交流会を行ってきたので、今年度も学年を変えて高齢者との交流をしていきたい。
	② 子ども食堂で認知症予防の劇を行う。	1件／年	1件／年	敬老の日に認知症の劇などをし地域包括を身近に感じて頂く。

3 地域支援体制の強化

事業計画				
・地域ケア会議（中部ブロック会議）を開催し、医療・保健・福祉関係者と課題や効果的な取り組みに対して情報提供をしながら地域の現状や課題を把握する。 ・両地区の民生児童委員協議会に参加し、関係性を構築する。				
		指標	計画	取組計画
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）	3回以上／年	3回以上／年	ブロック会議や中部圏域事業所を対象とした勉強会の開催。
	②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う。 （地域の会議・支え合い会議・行事に参加）	各地区3回以上／年	各地区3回以上／年	地域主催の会議に積極的に参加し、地域住民と共に一丸となって取り組む。
独自	①地域や関係機関との連携体制を継続する。「子ども食堂」などを通じて地域の人との交流を深める。	10回以上／年	10回以上／年	多世代の方との交流やふれあいセンター、民生・福祉委員の地区社会協議会長と協力・協同で行う。地域の子どもたちの課題や未来について一緒に知る機会とする。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

事業計画				
・複合化、複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人を把握し、家庭訪問及び同行支援等 継続的な支援を行う。 ・地域住民の通いの場や支援関係機関等に積極的に出向き、潜在的な課題の早期発見、早期支援に努める。				
		指標	計画	取組計画
基本	①アウトリーチを実施した実機関数	30機関／年	30機関／年	圏域の病院や薬局、民生、福祉委員、金融機関やスーパー、コンビニにパンフレットを持参し、周知啓発し、早期発見支援につなげる。
	②アウトリーチにより把握した実相談件数	15件／年	15件／年	サロンや健康教室、関係機関、民生委員からの連絡で、すぐに個別訪問を行い相談対応をする。
	③地域包括独自の見守り訪問を行う。複雑的・複合的支援の必要な方への継続訪問から実践を行う。	50件／年	50件／年	複合的、複雑的な課題を抱えながら支援を拒む方、支援が届き難い方に、定期的な訪問を行う。見守り訪問を業務に位置付け、定着するように努力する。
独自	①見守り訪問から地域の特色や課題 強みなどをまとめ、課題分析を行う。	1件／年	1件／年	地区別の特色や関係者からの声を拾い上げて対応を行う。

5 社会参加に向けた支援

事業計画				
・福祉総合相談事業 社会的孤立等の課題をかかえる人に対し、本人の強みを生かすことが出来る社会資源との引き合わせを目指す。地域で自分らしく生き甲斐を持って生活出来るように支援を行う。 ・地域支えあい推進事業、宇部市社会福祉協議会等地域づくり関係機関と情報共有し、社会資源の創出に向けた取り組みを行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①社会参加に向け連携した実機関数	15件／年	15件／年	地域関係機関等からの情報提供・相談にて、社会福祉協議会や地域サロン等につなげている。
	②地域ニーズ（個別課題・地域課題）とのマッチング実件数	5件／年	5件／年	社会資源の情報を多く確保する。関係機関と事例を通して情報を共有する。
	③新たな地域資源の創出に向けた取り組みを行った実件数	2件／年	2件／年	社会資源の創出にむけて、現場の困りごとを何度も伺い精査を行う。

令和 8 年度 地域包括支援センター事業計画書

中部第 2 地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践

事業計画				
高齢者が介護予防について意識しながら普段の生活の中で取り組むことができるよう、介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。 地域サロンや集いの場に積極的に関与し、高齢者の健康課題の把握、フレイル予防や認知症予防の支援を行う。 自立支援型地域ケア会議では、リハ職や他職種と連携し高齢者の身の回りにある資源を提案、高齢者が自分らしい生活を継続できるよう支援していく。				
		指標	計画	取組計画
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）	各地区6回以上／年	各地区6回以上／年	鵜の島・藤山健康相談、新川いどばた雑談室等に参加し普及・啓発を行う。 地域から要請があれば出前講座を行う。
	②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等、大衆アプローチによる介護予防）	各地区10回以上／年	各地区10回以上／年	地域のサロンや地域行事・イベント等に参加し、健康課題の把握やフレイル予防や認知症予防の支援を行う。
	③自立支援型地域ケア会議の検討を生かし、高齢者が自分らしい生活を継続するための資源の活用につなげる。	5件／年	5件／年	高齢者が自分らしい生活や意欲を引き出せるような資源を提案・活用できるよう支援者間で浸透させていく。
独自	①包括主体のサロン開催を継続		10回／年	毎月第 2（火）に開催。 フレイル予防・認知症予防のプログラムを取り入れる。 1回/年の鵜の島秋まつりに展示する作品づくりなど。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

事業計画				
認知症と共に生きる人たちができる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるように、相談窓口の周知、認知症カフェの開催支援等で相談・家族の支援体制を整えていく。 認知症サポーター養成講座を通して、地域、職域及び学校に対して認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域の見守り体制構築の支援を行う。 地域活動を通じて認知症当事者及び家族の困りごとや希望を収集し、その意見を反映したチームオレンジの発展的な取り組みにより共生社会を推進する。				
		指標	計画	取組計画
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）	4回以上／年	4回以上／年	既存の認知症カフェの開催支援 地域や郵便局・銀行等へチラシを配布し周知していく。
	②小学生から働く世代に対して認知症の正しい理解を促進し、共生社会の実現を推進する。（認知症サポーター養成講座等）	20人以上参加／年	20人以上参加／年	学校や地域住民、事業所等で認知症サポーター養成講座を開催、認知症の正しい理解を周知していく。
	③認知症当事者及び家族の困りごとや希望の聴取をする。	10件 （各地区3～5件）	10件 （各地区3～5件）	個別ケース相談や認知症カフェなどの集いの場に参加し実態把握していく。

3 地域支援体制の強化

事業計画				
地域住民が安心して暮らすために、地域の方と関係機関と連携し相談対応ができる体制づくりを行う。 民生福祉委員等とともに、高齢者が孤立することがないように地域での見守り支援を行う。 生活支援コーディネーターや地域住民等と協働で支えあい会議を開催し、地域課題の把握や解決に向けた協議を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）	3回以上／年	3回以上／年	地域ケア会議（中部ブロック会議）等の開催。
	②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う。 （地域の会議・支え合い会議・行事に参加）	各地区3回以上／年	各地区3回以上／年	地域の会議や行事に参加し、地域の方と課題の把握・解決に向けて協議を行う。
独自	地域の方や関係機関と連携し顔の見える関係づくりの強化。		各地区 1回／年	地域の行事・会議に参加する。 民生福祉委員や関係機関等と顔の見える関係づくりを行う。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

事業計画				
・複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人を把握し、家庭訪問及び同行支援など継続的な支援を行う。 ・地域住民の通いの場・支援関係機関等に積極的に出向き、潜在的な課題の早期発見・早期支援に努め、早急な支援が必要でなくても繋がり続け、支援が必要となった際には相談者は自発的にSOSが発信できる関係づくりを継続していく。				
		指標	計画	取組計画
基本	①アウトリーチを実施した実機関数	30機関／年	30機関／年	連携先のネットワークを広げていく。
	②アウトリーチにより把握した実相談件数	15件／年	15件／年	サロンや相談会、地域活動等においてアウトリーチの継続。

5 社会参加に向けた支援

事業計画				
・社会的孤立等の課題を抱える人に対し、その人の人生背景やパーソナリティに寄り添い、本人の強みを活かすことができる社会資源を提供し、地域で自分らしく生きがいを持って生活できるよう支援する。 ・課題解決にあたっては、宇部市社会福祉協議会等地域づくり関係機関と連携し、多様な社会資源の創出に向けた取り組みを行うとともに、地域全体で見守りやつながりづくりを促進する体制構築の支援を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①社会参加に向け連携した実機関数	15件／年	15件／年	地域ケア会議・自立支援型地域ケア会議・C型事業等を通して社会参加に向け連携を行う。
	②地域ニーズ（個別課題・地域課題）とのマッチング実件数	5件／年	5件／年	個別訪問・サロンや地域活動等に参加し、ニーズを把握しマッチングに取り組む。
	③新たな地域資源の創出に向けた取り組みを行った実件数	2件／年	2件／年	地域等の声を収集し、関係機関と連携していく。
独自	①誰もが参加できる居場所作りの継続	1件／年	1件／年	おれんじカフェ開催の継続。

令和 8 年度 地域包括支援センター事業計画書

北部東地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践

事業計画				
①高齢者が介護予防について関心をもち介護予防の大切さを感じて日常生活の中で取り組むことができるように正しい知識や技術の普及・啓発を行う。 ②地域内サロン・老人クラブ・地域行事に積極的に参加・関与し健康課題や介護予防・認知症予防への意識を把握して予防に着目した支援を行う。 ③高齢者の周りにある資源に着目しそれを活用して本人の望む生活ができるように支援していく。				
		指標	計画	取組計画
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）	各地区6回以上／年	各地区6回以上／年	各サロンや会議・様々な場所に参加し介護予防について正しい理解ができるように働きかけていく。介護予防教室を送迎付きで開催する。
	②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等、大衆アプローチによる介護予防）	各地区10回以上／年	各地区10回以上／年	サロンや地域行事に参加しフレイル予防・認知症予防に向けて正しい知識や技術の普及ができるように積極的に関与していく。
	③自立支援型地域ケア会議の検討を生かし、高齢者が自分らしい生活を継続するための資源の活用につなげる。	5件／年	5件／年	市の自立支援型地域ケア会議参加だけでなく北部圏域にて会議を開催する。高齢者が望む生活のための資源を提供できるように準備する。
独自	①地域住民を対象とした介護予防教室を送迎付きで開催する。		10回／年	圏域内法人と協力して介護予防教室を開催する。
	②広報誌や介護予防の知識の普及啓発を行うため北部圏域でイベントを行う。		2回／年	広報誌を年に2回発行。また介護の日のイベントを開催し介護予防の意識の普及、啓発をし生きがい作りの場の提供をする。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

事業計画				
①認知症になっても住み慣れた地域で過ごせるように民生委員・福祉委員や福祉関係の団体や行政機関と協力し地域全体で見守りができるように体制づくりを進めていく。 ②認知症への理解を深めるため児童・生徒から高齢者までの各世代の住民に向けて正しい知識の普及・啓発を行う。 ③地域の方が集まる場所に積極的に参加し認知症の早期発見や相談が受けられるような場づくりをする。				
		指標	計画	取組計画
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）	4回以上／年	4回以上／年	引き続きプラチナサポーターと協力して認知症カフェを開催し早期対応ができるように支援していく。
	②小学生から働く世代に対して認知症の正しい理解を促進し、共生社会の実現を推進する。（認知症サポーター養成講座等）	20人以上参加／年	20人以上参加／年	幅広い世代の方に認知症への正しい理解をしてもらうため認知症サポーター養成講座等が開催できるように働きかけていく。
	③認知症当事者及び家族の困りごとや希望の聴取をする。	10件 （各地区3～5件）	10件 （各地区3～5件）	集いの場や自宅訪問して認知症当事者や家族の思いを聴取する。
独自	身近な場所で認知症当事者や家族が集い話せる場づくりをする。		3回／年	ふれあいセンターでプラチナサポーターと一緒に認知症カフェ開催する。

3 地域支援体制の強化

事業計画				
①医療・保健・福祉関係者と北部ブロック会議(地域ケア会議)を開催して個別事例を通して地域の現状や課題を把握する。 ②少子高齢化が著しく人口減少が進む地域のため地域住民だけでなく圏域内法人と協力しながら地域課題解決に向けた体制づくりを推進する。 ③各地区の地域福祉に関わる団体と連携・協働しながら地域課題の把握やその解決に向けた取組を様々な団体と協力しながら必要な支援を実施しSCと協力しながら社会資源を発掘していく。				
		指標	計画	取組計画
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）	3回以上／年	3回以上／年	北部圏域で地域ケア会議を開催する。
	②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う。 （地域の会議・支え合い会議・行事に参加）	各地区3回以上／年	各地区3回以上／年	地域の民児協・支え合い会議・集いの場に参加し課題を把握し解決に向けた協議を行う。
独自	地域課題把握のため積極的に地域の会議に参加し顔の見える関係づくりをする。	各地区3回以上／年	各地区3回以上／年	地域の民児協・支え合い会議・行事に参加し地域住民だけでなく事業所とも顔の見える関係を築く。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

事業計画				
地域住民の通いの場や支援機関等の関係機関を積極的に訪問し、民生委員・福祉委員、地域団体のリーダー、行政機関や事業所等との連携・協働を通じて、複合化・複雑化した課題を抱えているが必要な支援が届いてない人の早期発見に努め、信頼関係を構築しながら継続的な伴走支援を行う。 特に自ら支援を求めにくい人には丁寧に働きかけながら寄り添った支援を行っていく。				
		指標	計画	取組計画
基本	①アウトリーチを実施した実機関数	30機関／年	30機関／年	行政機関、福祉関係団体、店舗、事業所等地域内の住民と関わるほぼ全ての場を定期的に訪問し、気になる住民等の情報提供を依頼する。
	②アウトリーチにより把握した実相談件数	15件／年	15件／年	団体・事業所等から情報提供され把握できた要支援者に対して、直ちに訪問し寄り添った継続支援を実施する。
独自	①出張福祉なんでも相談窓口（サテライト窓口）を開催する。		36件／年	担当3地区の地区だより等を活用して周知啓発を図り、各ふれあいセンターで毎月定期的に相談窓口を実施する。
	②地域住民の生の声を把握するためサロンに参加する。		12件／年	毎月サロンを1か所以上訪問する。

5 社会参加に向けた支援

事業計画				
①福祉総合相談事業 困りごとを抱える人に寄り添いながらニーズや課題を把握し、本人の強みを活かせる社会資源とのマッチングや支援メニューを提供し、地域で自分らしく生きがいを持って生活できるよう支援を進めていく。 ②地域支え合い推進事業 既存の制度・サービスでは本人の強みやニーズに対応ができない場合には、地域の関係機関等と連携協働して新たな社会資源の創出を目指す。				
		指標	計画	取組計画
基本	①社会参加に向け連携した実機関数	15件／年	15件／年	要支援者を社会参加に繋げるため、関係機関や地域内の福祉関係団体と連携協働していく。
	②地域ニーズ（個別課題・地域課題）とのマッチング実件数	5件／年	5件／年	障害のある人、ひきこもりの人、地域で孤立した人等が自分らしく生きがいを持って生活できるよう寄り添った継続支援を行う。
	③新たな地域資源の創出に向けた取り組みを行った実件数	2件／年	2件／年	地域の福祉関係者の会合やサロン・集いの場等に積極的に参加し課題を把握し、支え合い会議等の協議により地域で不足している社会資源の創出の取り組みを行う。
独自	①社会資源の把握と情報の更新に努める。		1件／年	課題解決に必要な選択肢を増やすために社会資源の把握に努め、最新の情報を提供できるように更新に取り組む。
	②誰でも参加しやすい居場所づくりを推進する。		1件／年	地域づくりに係わる関係機関と連携協働し、新たな居場所づくりに取り組む。

令和 8 年度 地域包括支援センター事業計画書

北部西地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践

事業計画				
・介護予防を主眼とした各地区を代表となる集いの場に関与し、介護予防に関する正しい知識や技術の普及啓発を行う ・地区社協と連携し、地域のサロンや集いの場に積極的に参加できる体制づくりとそれぞれの健康課題を把握してフレイルや認知症予防の支援を行う。 ・自分らしい活動的な生活を継続していくため 社会資源の活動および創出につなげる。				
		指標	計画	取組計画
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）	各地区6回以上／年	各地区6回以上／年	こもれびの郷や山口銀行船木支店の出張相談会、吉部出張相談会を開催、また、各地区でイベントに参加し介護予防に関する周知を行う。
	②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等、大衆アプローチによる介護予防）	各地区10回以上／年	各地区10回以上／年	サロンや地域の団体に積極的にアプローチしていき、シニアすこやかプログラムやまちなか保健室の活用、健康増進課と連携し、フレイル予防や認知症予防にに着眼した支援を行う。
	③自立支援型地域ケア会議の検討を生かし、高齢者が自分らしい生活を継続するための資源の活用につなげる。	5件／年	5件／年	宇部市のhope会議への参加および北部圏域のリハ職やSC、ケアマネなどで構成されたメンバーで会議を1回は開催する。その中で、その人らしい社会資源の活用につなげる。
独自	①各地区の介護予防を目的とした集いの場に関与し、高齢者の参加につなげる。		3回以上／年	吉部は吉部元気クラブ、万倉はスポレク、船木は健康教室の3団体に対し、hopeの卒業後の資源となるよう関与して、参加につなげる。
	②包括かわら版を発行し、介護予防・認知症予防の情報提供を行う。		3回以上／年	定期的に包括かわら版を発行し、地域住民へ班回覧やSNSで介護予防や認知症予防の情報発信を行う。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

事業計画				
・ 認知症に対する正しい知識の普及を図り、各地区において地域共生社会の構築を目指す。 ・ 認知症になっても役割をもち、社会とのつながる機会を確保する。 ・ 認知症の人を支える家族の負担軽減を図れるように、相談機会を作り、支援体制を強化する。				
		指標	計画	取組計画
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）	4回以上／年	4回以上／年	認知症カフェはオンラインと対面のそれぞれの特性を生かしハイブリッドで開催し、認知症当事者や家族が気軽に相談できる環境を作る。
	②小学生から働く世代に対して認知症の正しい理解を促進し、共生社会の実現を推進する。（認知症サポーター養成講座等）	20人以上参加／年	20人以上参加／年	圏域内の小・中学校や地域住民、事業所に対し、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解を周知していく。
	③認知症当事者及び家族の困りごとや希望の聴取をする。	10件 (各地区3～5件)	10件 (各地区3～5件)	認知症の相談窓口の周知やアウトリーチにて認知症当事者や家族の相談が気軽にできる体制を作り、聞き取りを行う。
独自	①拠点型チームオレンジUOQの開催		10回以上／年	対象者を認知症当事者とプラチナサポーターとし、認知症の方が発信できる居場所を目指す。
	②認知症の方やプラチナサポーターとのイベント開催		3回以上／年	認知症当事者や家族、プラチナサポーター、地域住民がともに活動する機会（キャンプ場や芋掘りなど）を作る。

3 地域支援体制の強化

事業計画				
・圏域内の事業所や地域住民とのネットワークをさらに強化し、地域住民が安心して暮らし続けられるように「地域支え合い包括ケアシステム」を構築していく。 ・高齢者が孤立化することのないように、民生委員や関係機関と連携し、地域での見守り体制支援を行う。 ・地域住民と地域課題の把握や解決に向け、協議できるようにアプローチする。				
		指標	計画	取組計画
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）	3回以上／年	3回以上／年	北部圏域の事業所や地域など多職種連携し、地域ケア会議の開催を行い、推進していく。
	②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う。 （地域の会議・支え合い会議・行事に参加）	各地区3回以上／年	各地区3回以上／年	船木地区は引き続き支え合い会議を開催、万倉は健康福祉部への参加を継続する。吉部は子ども食堂の開催や開催に向けた会議へ参加する。各地区での福祉交流会開催支援も行う。
独自	①民生委員との連携体制を強化する。		6回／年以上	民生委員協議会に出席し、相談しやすい環境をつくり、個別ケースの情報共有を行う。
	②地域ケア個別会議の開催		2件／年以上	民生委員や担当ケアマネ、関係者が連携し、地域課題を把握や解決につなげる

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

事業計画				
・商業施設等人が集まりやすい場所出張相談窓口を継続して開催し、今後も開催の周知を行い参加率を挙げ、地域に根差した相談窓口になれることを目指す。 ・民生委員や地域住民、支援機関と連携し、情報収集やネットワークの構築を行う。支援が届いていない人の把握に努め、関係機関と連絡を取りながら継続支援を行う。 ・包括支援センター職員等と情報共有し、重層的支援が必要な家庭への訪問、同行支援等を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①アウトリーチを実施した実機関数	30機関／年	30機関／年	いきいきサロンや地域行事へ参加し、情報収集やネットワークの構築を行う。
	②アウトリーチにより把握した実相談件数	15件／年	15件／年	相談窓口やスポレク広場、集いの場に出向き、日常の気づきや変化を拾いあげれるように努める。
独自	①出張相談会の開催		10回／年	山口銀行船木支店やこもれびの郷、吉部介護予防教室での相談窓口を継続して開催

5 社会参加に向けた支援

事業計画				
・社会的孤立等複合的課題を抱える人に対し、包括支援センターや支援チーム、関係機関と支援方法について検討し、本人の生きがいとなるよう社会参加へ繋げていく。 ・不足している社会資源がないか地域支えあい会議等を通じて情報収集し、地域や関係機関等と新たな創出に向けて取り組みを行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①社会参加に向け連携した実機関数	15件／年	15件／年	地域の行事などに参加していけるよう、関係機関などと連携していく。
	②地域ニーズ（個別課題・地域課題）とのマッチング実件数	5件／年	5件／年	本人の強みと地域ニーズに着目し、生きがいに繋げていけるよう努める。
	③新たな地域資源の創出に向けた取り組みを行った実件数	2件／年	2件／年	包括と連携し、個別ケースから新たな社会資源に向けての取り組みを行う。
独自	①資源マップを作製、更新をする。			個別ケースや地域での情報収集から、地域資源を把握し、更新していく。

令和 8 年度 地域包括支援センター事業計画書

南部第 1 地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践

事業計画				
・高齢者が介護予防について関心を持ち、普段の生活の中で積極的に取り組むことができるよう介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。 ・身近な地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、高齢者の健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行い、保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。 ・高齢者の身の回りにあるあらゆる資源を活用・提案し、自分らしい活動的な生活を継続できるマネジメントを行うために、地域資源のとらえかた・自立支援の考え方を支援者間で浸透させていく。				
		指標	計画	取組計画
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）	各地区6回以上／年	恩田12回 岬12回	①恩田【ふれあいセンター健康相談会 ・則貞郵便局】岬【ふれあいセンター健康相談会 、フジグラン介護相談会 】
	②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。 （サロン、認知症カフェ等、大衆アプローチによる介護予防）	各地区10回以上／年	恩田40回 岬10回	②恩田【サロン3ヶ所×年12回 認知症カフェ1カ所×年12回】 岬【サロン1カ所×年12回 認知症カフェ1カ所×年4回】
	③自立支援型地域ケア会議の検討を生かし、高齢者が自分らしい生活を継続するための資源の活用につなげる。	5件／年	5件／年	③個別ケースに対して、必要な関係機関を招集して自立支援型地域ケア会議を開催。
独自	①介護サービスにつながらないケースや総合相談業務等で把握したケースについて個別アプローチを行う。		20件	①サロンに出向いて把握したケースやサービスにつながらないケース等に個別にアプローチしていく。必要に応じて個別地域ケア会議等を開催し課題抽出や地域資源につなぐ。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

事業計画				
・ 認知症と共に生きる人たちができる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、早期の相談や家族の支援の支援体制を強化する。 ・ 認知症サポーターの養成等により、地域、職域及び学校に対して認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。 ・ 地域活動を通じて認知症当事者及び家族の困りごとや希望を収集し、その意見を反映したチームオレンジの発展的な取り組みにより共生社会を推進する。				
		指標	計画	取組計画
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）	4回以上／年	16回／年	認知症カフェ2ヶ所（おいでーや、ゆるーり）の開催支援を行う。また、地域の関係機関に対して認知症カフェの周知を進める。
	②小学生から働く世代に対して認知症の正しい理解を促進し、共生社会の実現を推進する。（認知症サポーター養成講座等）	20人以上参加／年	20人／年	恩田・岬小の児童、その保護者等を対象に高齢者や認知症に対する理解を促進する学習会や交流会を開催する。 多世代が参加できる認知症サポーター養成講座を開催する。
	③認知症当事者及び家族の困りごとや希望の聴取をする。	10件（各地区3～5件）	恩田5件／年 岬5件／年	個別相談や、相談会で当事者や家族から困りごとや希望を聴取する。
独自	①「恩田やさしさ育みワークショップ」に参加して高齢者と児童とが触れ合える企画を検討し、子ども達に高齢者や認知症に対する理解を広める。		3回／年	恩田住民と共に行っている「やさしさ育みワークショップ」に参加し、高齢者と児童が一緒に参加できる企画を一緒に考えて開催する。認知症の理解を広めていく。
	②個別ケースから新たなチームオレンジを組んで活動する。		1件／年	困りごとがあるケースをプラチナサポーターに相談し協力を得ていく。

3 地域支援体制の強化

事業計画				
・地域住民が安心して暮らすための「地域支え合い包括ケアシステム」をさらに進め、分野横断的に連携して相談対応ができる体制づくりを行い、ネットワークの拡大強化を図る。 ・民生児童委員や関係機関等とともに高齢者が孤立することのないよう地域での見守り支援を行う。 ・生活支援コーディネーターや住民等と協働で地区単位での支え合い会議を開催し、地域課題の把握や解決に向けた協議を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）	3回以上／年	3回／年	南部ブロック会議を開催し、地域課題の抽出と解決について検討する。
	②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う。 （地域の会議・支え合い会議・行事に参加）	各地区3回以上／年	恩田 6 回／年 岬 3 回／年	恩田支え合い会議で、地域課題解決に向けた取り組みを協議する。 岬は必要に応じて不定期で支え合い会議を開催。地域行事に参加する。地域ケア個別会議の開催。
独自	①市地区担当保健師、社会福祉協議会、ふれあいセンター館長、包括で顔の見える連携体制を強める。必要に応じて個別ケア会議を開催する。		恩田3回／年 岬1回／年	関係者で集まり、地域での実情を共有し問題解決に向けて協議する。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

事業計画				
・複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人を把握し、家庭訪問及び同行訪問など継続的な支援を行う。 ・地域住民の通いの場や支援関係機関等に積極的に出向き、潜在的な課題の早期発見、早期支援に務める。				
		指標	計画	取組計画
基本	①アウトリーチを実施した実機関数	30機関／年	40機関／年	既存の通いの場や関係機関と連携しつつ、新規の事業所も発掘していく。
	②アウトリーチにより把握した実相談件数	15件／年	15件／年	相談窓口や集いの場などに参加し、地域から相談しやすい関係を築く。
独自	①連携して同行した件数		30件／年	他職種と連携して継続した関わりを持つ。
	②研修への参加		6回／年	社会保障や難病等、基本的な理解を深める。

5 社会参加に向けた支援

事業計画				
①福祉総合相談事業 社会的孤立等の課題を抱える人に対して、本人の強みを生かすことができる社会資源を提供し、地域で自分らしく生きがいを持って生活できるよう支援する。 ②地域支え合い推進事業 課題解決にあたっては、宇部市社会福祉協議会等地域づくり関係機関と連携し、多様な社会資源の創出に向けた取り組みを行うとともに、地域全体で見守りやつながりづくりを促進する体制構築の支援を行う。				
		指標	計画	取組計画
基本	①社会参加に向け連携した実機関数	15件／年	15件／年	担当地域内外の既存の機関の把握や相談を行う。
	②地域ニーズ（個別課題・地域課題）とのマッチング実件数	5件／年	5件／年	SCとして参加した最終カンファレンスや総合相談対応等で、ニーズを把握してマッチングしていく。
	③新たな地域資源の創出に向けた取り組みを行った実件数	2件／年	2件／年	既存にない資源について色々な部門と検討していく。
独自	①支え合い会議・個別支援会議に参加する。		10回／年	地域の見守りやつながりに向け、顔が見える連携体制を作る。

令和 8 年度 地域包括支援センター事業計画書

宇部市南部第2地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実践

事業計画				
・高齢者が介護予防について関心を持ち、普段の生活の中で意識して介護予防に取り組むことができるよう、正しい知識や技術の普及・啓発を行う。 ・担当地区のサロン・健康教室・相談会等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、高齢者の健康課題の把握と、フレイル予防や認知症予防に着目した支援を行う。 ・高齢者の身の回りにあるあらゆる資源を活用し、本人が望む生活に向けてセルフマネジメントの支援・提案が行えるよう、地域資源のとらえ方や自立支援の考え方を支援者間で浸透させていく。				
		指標	計画	取組計画
基本	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。（健康教室・健康相談・出前講座・チラシ配布）	各地区6回以上／年	各地区6回以上／年	神原健康相談、見初健康チェック、琴芝健康・福祉なんでも相談会を毎月開催。各地区の団体・集会に毎月チラシ配布。地域の要請に応じ出前講座。
	②地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、健康課題の把握とフレイル予防や認知症予防に着眼した支援を行う。（サロン、認知症カフェ等、大衆アプローチによる介護予防）	各地区10回以上／年	各地区10回以上／年	（神原）きらめきウォーキング、すこやか健康クラブ、神原健康教室、大関サロン（見初）常安寺サロン・40区カフェ、（琴芝）オレンジほっとサロン、琴芝げんき会、縁が和サロン、野中お元気会、東山ひまわりの会、西梶返いきいきサロン、47区サロンの支援。
	③自立支援型地域ケア会議の検討を生かし、高齢者が自分らしい生活を継続するための資源の活用につなげる。	5件／年	5件／年	hope利用者をはじめ、地域の高齢者・支援者に自立を助ける地域資源の情報提供・提案を行う。
独自	①介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発		各地区2回／年	夏祭り・文化祭など地域の行事で「健康と介護予防の相談会」を開催。宇部市短期集中予防サービスの周知・啓発を行う。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

事業計画				
・ 認知症と共に生きる人たちができる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、相談・支援体制を整え周知する。 ・ 認知症サポーターの養成などを通じて、児童・生徒や地域住民、事業者などに対して認知症への理解や見守りの大切さを広めるとともに、地域で認知症の方を見守り支える体制構築の支援をする。 ・ 認知症当事者と家族の声を地域活動に参加する中で把握し、その意見を反映したチームオレンジの取り組みを当事者・地域と検討する。				
		指標	計画	取組計画
基本	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援）	4回以上／年	4回以上／年	見初地区40区カフェの開催を継続的に支援しつつ、琴芝・神原の認知症カフェの開設はニーズに合った開催方法を地域の方と検討する。
	②小学生から働く世代に対して認知症の正しい理解を促進し、共生社会の実現を推進する。（認知症サポーター養成講座等）	20人以上参加／年	小学生から働く世代 20人以上参加／年	地域その他、職域・学校対象の認知症サポーター養成講座開催を働きかけ開催する。 SOS模擬訓練・意思決定支援等の出前講座を開催する。
	③認知症当事者及び家族の困りごとや希望の聴取をする。	10件 (各地区3～5件)	10件 (各地区3～5件)	日常的な相談業務の他、認知症カフェやサロンで「生の声」を聞き取る。また、民生委員や福祉委員、ケアマネから困りごとや希望を聞き取る。
独自	①認知症の早期の相談や家族の支援体制を強化する。		2回／年	「だより」に認知症に関する情報を掲載し、地域住民に配布し理解促進、相談先の周知を図る。

3 地域支援体制の強化

事業計画				
・ 定期的な連絡会や会議を通じて多分野の方々と顔の見える関係づくりを進め、地域内の支援資源を把握し、支援者同士のネットワークを拡大する。 ・ 地域の見守り支援に関わる人たちと連携し、高齢者の課題に対する対応力や見守り体制の強化を図る。 ・ 高齢者に関する地域課題の把握と解決に向けて、生活支援コーディネーターや住民等と協働で支え合い会議を開催し、協議をする。				
		指標	計画	取組計画
基本	①「地域支え合い包括ケアシステム」の推進（地域ケア会議）	3回以上／年	3回以上／年	地域ケア会議（個別会議、ブロック会議）を開催し、個別ケースの検討と地域課題の検討をする。
	②地域での見守り支援、課題の把握や解決に向けた協議を行う。 （地域の会議・支え合い会議・行事に参加）	各地区3回以上／年	各地区3回以上／年	民生児童委員定例会（毎月）で情報交換。 見初：情報交換会（毎月）、支え合い会議（2ヶ月に1回） 神原：健康福祉部会（年2回） 琴芝：福祉なんでも相談会（毎月）
独自	①高齢者の見守りに関わる関係者の連絡会を開催することにより、高齢者の課題に対する対応力強化や組織横断的な連携体制の強化を図る。		各地区1回以上／年	生活支援コーディネーター、地域支援員、地区担当の保健師が定期的に集まり、地域の実情や課題について共通認識を得るとともに、支援ネットワークの強化を図る。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

事業計画				
個別課題と地域課題の発見と支援に努める。 ①地域コミュニティ、地域住民の集いの場、行事に参加する。地域の商店や事業所、住宅に出向く。 ②地域福祉課、健康増進課、地域包括支援センターの3職種と連携して支援につなぐ。				
		指標	計画	取組計画
基本	①アウトリーチを実施した実機関数	30機関／年	30機関／年	アウトリーチを定期的に行う。
	②アウトリーチにより把握した実相談件数	15件／年	15件／年	アウトリーチを継続して行う。
独自	③潜在的課題の早期発見、早期支援のための情報収集		各地区2回	地域住民の通いの場、地域行事・会議等に包括職員と共に参加する。

5 社会参加に向けた支援

事業計画				
①福祉総合相談事業 ・社会参加に向けて、関係機関と連携協働する。・課題を抱える人に、関係支援者と同行訪問して顔の見える関係づくりを行い、本人に寄り添い理解を深める。 ②地域支え合い推進事業 ・地域の社会資源を把握し、不足しているものがあれば、関係機関と協働して創出に取り組む。 ・誰が何に困っているかに「気づける」地域づくりに向けて、いまある場をつながりの拠点として維持する体制構築を働きかける。				
		指標	計画	取組計画
基本	①社会参加に向け連携した実機関数	15件／年	15件／年	関係機関と連携をすすめる。
	②地域ニーズ（個別課題・地域課題）とのマッチング実件数	5件／年	5件／年	地域ニーズに応じた社会資源につなぐ。
	③新たな地域資源の創出に向けた取り組みを行った実件数	2件／年	2件／年	関係機関や地域住民と取り組む。
独自	④社会参加に向けて伴走型支援ケースの実件数		5件／年	関係機関とともに連携協働をすすめる。

令和 8 年度宇部市地域包括支援センター収支予算書

(円)

地域包括支援センター			東部 1	東部 2	西部 1	西部 2	中部 1	中部 2	北部東	北部西	南部 1	南部 2
運営法人			社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同 組合 健文会	医療法人 仁心会
歳入	包括的支援事業		19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	14,527,000	14,527,000	19,522,000	19,522,000
	第一号介護予防支援事業		8,200,000	9,305,000	9,658,000	5,500,000	9,000,000	7,809,000	2,230,500	3,307,000	6,098,130	7,279,500
	指定介護予防支援事業		9,000,000	13,691,000	7,591,000	7,900,000	11,000,000	10,752,000	3,712,800	4,358,000	8,701,470	10,218,640
	その他の収入		1,578,000	900,000	0	0	4,266,000	0	2,248,000	104,000	1,494,405	0
	歳入合計		38,300,000	43,418,000	36,771,000	32,922,000	43,788,000	38,083,000	22,718,300	22,296,000	35,816,005	37,020,140
歳出	人件費	包括的支援事業	18,573,000	17,706,000	18,137,500	18,640,000	18,367,000	15,598,000	11,830,500	13,034,854	19,091,114	18,252,486
		第一号介護予防支援事業	3,407,000	2,110,000	0	1,880,000	4,852,350	1,689,000	2,230,500	2,226,261	2,538,431	2,404,122
		指定介護予防支援事業	4,005,000	6,554,000	3,932,000	1,880,000	5,930,650	2,172,000	4,054,500	2,966,066	4,812,442	4,655,710
		計	25,985,000	26,370,000	22,069,500	22,400,000	29,150,000	19,459,000	18,115,500	18,227,181	26,441,987	25,312,318
	事務費	包括的支援事業	949,000	2,716,000	1,384,500	882,000	1,161,000	3,924,000	2,786,500	1,509,146	1,504,661	1,269,514
		第一号介護予防支援事業	4,793,000	7,195,000	9,658,000	3,620,000	5,838,500	6,120,000	0	1,118,149	3,710,065	4,875,378
		指定介護予防支援事業	6,573,000	7,137,000	3,659,000	6,020,000	7,638,500	8,580,000	1,816,300	1,441,524	4,159,292	5,562,930
		計	12,315,000	17,048,000	14,701,500	10,522,000	14,638,000	18,624,000	4,602,800	4,068,819	9,374,018	11,707,822
	歳出合計		38,300,000	43,418,000	36,771,000	32,922,000	43,788,000	38,083,000	22,718,300	22,296,000	35,816,005	37,020,140
	収支差額			0	0	0	0	0	0	0	0	0